

## 研究発表 II

学校名 茅ヶ崎西浜高等学校 P T A

研究テーマ 「問題解決に向けて 仲間と共に育ちあう」

### 1 学校紹介

茅ヶ崎西浜高校は茅ヶ崎市内南西部に位置し目の前には白砂青松の湘南海岸が広がり、東には烏帽子岩、西には丹沢・箱根・富士を臨む事ができて豊かな自然の中で生徒は伸び伸びとした学校生活を送っています。

西浜高校の教育の特長は、①信頼される人材、②気品と誇りを持った人材、③マネジメント力を持った人材の3つの柱の人材育成に力を入れていることです。また、論理的な思考能力を身に付ける「プログラミング教育」に力をいれています。さらに、学習支援の一貫として、スタディサプリーに全員が登録し、全校生徒が意欲的に視聴しており、利用率は2年続けて全国1位になっています。

### 2 P T A の紹介・問題点

本校 P T A は、4つの委員会とそれを統括する本部で構成されており、毎日がんばっている生徒を支援するために、我々 P T A は日々奮闘しています。活発な P T A ではありますが、問題点もあります。①役員・委員のなり手が不足していること、②現役員・委員だけでは手薄になる活動があること、③交通安全について注意喚起が不足している、の3点です。そしてこの3点の問題の解決のために、話し合いを重ねました。

### 3 問題解決のための取り組み

検討の結果、①選出方法・指名の仕方の改善、②全ての保護者を巻き込んでいけないか、③新しい試みに挑戦すること、の3点が大切

と考えました。本日は、②と③について、交通安全への取組を例にして説明します。

本校は、自転車通学者がとても多く、800人を超える生徒が自転車を使用しています。毎月4日間ほど「登校駐輪指導」として、教員や P T A 委員が朝、通学路に出てパネルを持ったり、声かけしたりして自転車走行への注意喚起を行っています。ただ、苦情をいただいたり、事故も起きていることから、さらに人数を増やして（②保護者を巻き込む）

「登校駐輪指導」をより強化しようということになり、現在、その人数を増やすためにボランティアを募集しているところです。

交通安全での新たな試み（③）としては、文化祭で、交通安全に関するブースを設けました。ブースには交通安全の DVD を流しながら飲み物・菓子を用意したカフェを設置しました。とてもたくさんの方々が来場者があり、本部役員一同感動しました。交通安全についてのアンケートも行いました。また、事前に全校生徒・保護者に交通安全標語を募集して、優秀作品をブースに掲示しました。（これらの標語は、今後校内に掲示して、交通安全への意識をさらに高めてもらいたいと考えています。）さらに、人通りの多いところで交通安全クイズを行い、交通安全への意識を少しでも高めてもらおうとしました。

すぐに結果は出ませんが少しずつでも生徒たちの意識に浸透していったらと思います。

#### 4 まとめ

交通安全への取組を例にして、本校PTAの問題点とその解決への試みを説明しました。新しい試みをするにはとてもエネルギーが必要です。生徒たちのために挑戦する強い気持ちを持って前進していきたいと思います。先日「大人の育ち合いのないところに、子供の育ちはない」と本で読みました。

私たちはPTA活動を通して立場の違う者たちが意見の食い違いはあっても相手を理解し、思いやり一つ一つ進んで来たことで育ち合っていると実感しています。これが生徒の育成につながっていけば嬉しいです。

今後も問題解決に向けて仲間と共に育ち合いながら生徒たちの成長のため活動を続け伝え、つなげていけたらと思います。

[助言者講評] 深沢高校 石川裕子校長

発表の最後に「大人の育ち合いのないところに、子供の育ちはない」とありました。学校は、いろいろな組織や仲間の中で育てられています。社会の情勢が刻々と変わる中で、この言葉から、茅ヶ崎西浜高校PTAの意気込みや姿勢が伝わってきました。

命の大切さは、皆に共通することです。自転車で生徒を被害者にも加害者にならないための教員とPTAが一丸となつての登校指導や多忙な中でのPTA活動は並大抵のことではありませんが、やろうという意欲や一致団結されていることは素晴らしいと思います。保護者の皆様の気持ちは生徒に伝わっていることと思います。

生徒アンケートから、心の声として、大人の支援がありがたいと思っていることが伝わりました。今の子どもは言葉にすることが上手ではなく、例えば「やばい」の一言でいろいろなことを表現します。アンケートや交通標語から、言葉にすることの大切さを感じるとともに、子どもも保護者も他人の考えを新

たに知る機会になったと思います。共感できる素晴らしい仲間がいるから意欲が湧きます。保護者、教職員、そして生徒を巻き込んで、共感をしながら高め合っていく、それは教育には大切なことです。

最後に、私は、種を蒔くことの大切さを教えていただきました。組織的にいろいろな形で種を蒔き、取組が花開く。今後とも、是非こういう試みを続けていただければと思います。子どもを守りたいという想いは、学校関係だけでなく、我々皆の共通のものです。

どうもありがとうございました。